

畜産業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13～14	2号牛舎においてロールカッターの脇で倒れているのを発見した。	62	
1	14～15	牛を配置する作業中、牛と柵をつないでいたロープを片手でほどこうとしたところ、牛が突然後退したため、スタンション（牛の頸部を挟んで安定させるつなぎ止め具）が動き、間に右手が挟まれ、小指を負傷した。	21	1～9
1	14～15	牛削蹄作業中、牛を移動している際に牛が突然走り出し、つられて前に出ようとした際、柱と牛に挟まり鎖骨骨折となった。	24	—
1	7～8	鶏舎内で、鶏を詰めた移動台車を押して通路を移動していた時、移動台車の脇を人が通過しようとした為、速度を落として徐行した。その際、後続の移動台車を押していた者が気付かず、当事者の背中に移動台車が接触し、前のめりになった際に右足の爪先が通路グレーチングに引っ掛かり、足の甲から指が反り返ったため親指・中指・小指を骨折した。	61	100～299
1	14～15	農場内肉豚舎で、出荷する豚を豚舎から出そうと追い込みをしている時、座り込んで動かない豚の首付近を手で押して動かそうとしたところ、急に豚が手袋の上から噛みつき、左手中指爪先を切断した。	39	30～49
1	11～12	牧場内で、パワーショベルのグラップル（爪）を使用し、オイルの入っていた空のペール缶を潰す作業をしていた。作業中に缶が爪にはさまり、被災者が手袋をはめて缶を爪から蹴って外していた。その際、バランスを取るためグラップルの支点の部分に手を置き作業していたが、重機の運転手からは見えておらず、蹴りやすいように少しグラップルを広げたところ、支点到指を挟みこみ、右手指を負傷し	22	1～9

		た。なお、運転手は重機運転に関する免許は持っていなかった。		
2	14~15	自厩舎洗い場で2才馬の手入れ中、同馬が暴れだし、鉄柱と馬体との間に挟まれ負傷した。病院へ通院したが、後日別の病院に転院し、骨折と診断されたのでその日から休業する。	40	1~ 9
2	10~11	寝藁を撒く機械が詰まったのでエンジンを停止し藁を取り除く作業をしていて、藁を引っ張った時に、引っ掛かっていた藁と羽の部分が一緒に動き右手人指し指が挟まり負傷した。	42	~ 29
3	8~9	当社牛舎にて配合飼料を配給車に出す機械を使用している際、誤って回転部分に指を入れてしまい負傷した。	33	10 ~ 29
3	14~15	鶏ふん温水器で鶏ふんを燃焼し、燃焼後の焼成灰が機械本体の下部中央部分に蓄積し、通常スクリーコンベアで機械本体の外部にタイマーで搬送される。今回の事故は、機械本体の中央部分のスクリーの上で燃焼部分の掃除をしていてタイマーが作動し、スクリーに巻き込まれた。	47	50 ~ 99
3	18~19	鶏舎室内で最終見回り時に、ホッパーのチェーンが緩い事に気づいたためテンションを張る作業中に、タイマーによりホッパーが動き出し、チェーンに指を挟まれた。自動運転の設定になっていて、タイマーで停止していたが、電源を切らないまま作業し、タイマーの時間がきて動き出した。	39	10 ~ 29
3	8~9	ペールカッターでロールわらを切っていて、ロールわらの残りが少なくなり、中々切れなくなったのでカッターの上のにり足で押さえた。そのとき上でバランスを崩し、カッターに足を挟まれてしまった。	63	1~ 9
3	9~10	鶏舎内で鶏に給餌作業をしている時に、餌箱に異物が入っていることに気付き、取り除こうと右手を入れたところ、餌箱の下の機械に手を挟まれ小指を骨折した。	38	1~ 9
3	6~7	採卵鶏農場集卵室で集卵作業中に、舎内より集卵室へ流れ動いているバーコンベア（卵がのって移動してくる）の乗り継ぎ個所で左手を挟まれ、指先を負傷した。	26	1~ 9
3	11~12	洗い場にて馬の肢を洗っていた際、馬に洗い場の壁へ押し付けられ、手を馬と壁の間に挟まれ負傷した。	23	—

3	13~14	餌置場で牧草をカッターでカットしていた時、草がカッターにつまったので取ろうとしたところ、手に草がからんで引き込まれてしまった。	47	1~ 9
4	17~ 18	従業員が牧場にてヘルパー業務中、牛の搾乳作業をしており、搾乳が終わった牛と搾乳を始める牛の入れ替え中に、他の人が牛を驚かせてしまい、搾乳が終わった牛が急に動いてしまったので、牛に当たらないよう避難しようとしたが、牛と鉄の柵との間に右上腕部を挟まれて打撲した。	21	50 ~ 99
4	13~ 14	養豚舎内調整室で、豚の配合飼料攪拌機清掃作業中、攪拌機内の羽根が完全に停止する前に、左手で飼料を寄せた時に羽根に指を挟まれ負傷した。	66	50 ~ 99
4	13~ 14	鶏卵エレベータの清掃を本来電源を落として行うところ、落とさずに腕を入れたためチェーンに巻き込まれ左腕を負傷した。餌ホッパー内に詰まりが生じた為、原因を調べようと餌ホッパー側面部のネジを工具を使ってはずそうとしたところ、左エレベーター右側についているチェーンと上部シャフトに衣服の左腕部分がまきこまれて、ズボンも中段シャフトにからまった。	23	10 ~ 29
5	5~6	自厩舎内、馬洗場（厩舎）において、運動終了後に洗場に繋ごうとした際、該馬が物音に驚き突然前に走り出したため踏まれ、右足の小指を負傷した。	39	10 ~ 29
5	15~ 16	牛舎において牛の手術を行う際、牛を倒す為ロープを牛の近くで引っ張った時、牛が体勢を崩し、左足首の内側を踏まれ負傷する。	22	50 ~ 99
5	14~ 15	Cロットの鶏舎内において、傾斜の修理中に右腕をシャフトに巻き込まれ重体になった。ナイアガラと呼ばれる部分のベアリングを、ブレーカーを落として交換に入った際、ベアリングの取り付けが終わり、正常に動くか確認のため電源を入れてモーターを動かす際に、修理したベアリングの部分とは違う足元にあるシャフトに右手を巻き込まれる。回転は遅いが、力が強く右腕の裾から絡まり、右腕がシャフトに巻き込まれる形で肋骨までシャフトに引っ張られて骨折した。	56	1~ 9
		当社堆肥舎で、ボブキャットに乗りバケットを操作しながら堆肥を混ぜる作業をしている時に、突然ボブキャットが前に傾いたため、ボブキャットから降りようと右		

5	11~ 12	足を出したところ、傾いていたボブキャットが元の状態に戻ったと思ったが、バケットが下降してきて、降りようと出していた右足の膝下を、ボブキャット本体とバケットとの間に挟んでしまった。	19	1~ 9
6	4~5	馬房内において、馬の手入れのため馬房に入って、左手に馬と繋がっている手綱を持ち、右手でブラシを持って馬の左側の首、背中、お尻へとブラシをかけている時、馬が何かに驚き、急にお尻を寄せて来て、逃げる間もなく、左肩が馬の左のお尻に、右肩が馬房の壁に挟まれた状態となり、肩と胸が圧迫されたため、鎖骨脱臼と右肺に外傷性の気胸を負った労災事故である。	61	1~ 9
6	12~ 13	被災者である当社従業員は、当社事業場において、牛のエサづくりのため、わらをカッター機で切断作業していた。機械から通常と違う音がしたため、電源を切った後、モーターを確かめようとしたが、ベルトが動いていたため右手でベルトを止めようとしたが、プーリーまで右手を運ばれ、ベルトとプーリーに右手薬指が挟まり負傷した。	20	1~ 9
6	15~ 16	給餌機の修理中（鶏舎内）、（パイプ内で引っかかった機器を修理するために）電源を切り、手を入れて作業していたところ、引っかかりの取れた機器が一気にパイプ内に戻り、指が巻き込まれた。（右小指がパイプと機器に挟まれた。）	55	10 ~ 29
6	11~ 12	孵卵場工場内で、卵を積んだラック（約120kg前後）を倉庫から引っ張り出して移動させる時、ラックの滑車（鉄）が左足に乗りかかった。その時に本人が慌ててしまい、ラックを再び自分の方向へ戻そうとしたため、再び足を直撃して2回轆かかれてしまった。この作業時は安全靴を履かなければならないのだが、履いておらず、普通の長靴で作業を行っていた。	39	100 ~ 299
7	7~8	朝、ヘルパー作業のひとつで放牧地にトラクターで水タンクを運んだ帰り、放牧地の電牧の線をしめるため、トラクターを降りて線をしめる作業をしていた時、トラクターがゆっくりとさがって来てひかれた。	30	1~ 9
7	11~12	交配豚舎内において、豚の交配作業中、雌に雄が乗ったので補助に入ろうとしたところ、雄が足を滑らせ雌から滑り降りたために、豚房柵と雄の間に左手が挟まれ骨折した。	25	1~ 9

7	10~11	豚舎で豚ふんを運搬車で運ぶ作業中、運搬車の操作を誤り豚舎ブロック壁と運搬車に体を挟まれ骨折。	53	1~ 9
7	16~ 17	馬の治療中、馬が治療を嫌がり突然後ずさりをした。その際、手に持っていた引手綱が右手中指に絡み負傷した。	36	30 ~ 49
7	7~8	出張厩舎馬房内において手入れ作業中、該馬が突然ぶつかってきた際に、該馬と壁との間に挟まれ、左脇腹および腰部を負傷した。	46	10 ~ 29
7	7~8	鶏舎内で鶏に給餌中、給餌機BOX内のゴミが詰まっていたため、電源を切り忘れたまま取り除こうとした。その際、稼働中の給餌機BOX内に指を突っ込んでしまい、給餌機チェーンに指を巻き込まれ負傷した。	44	10 ~ 29
7	11~ 12	農場の集卵室で、ランドリーに残っている卵を取り出そうとした際、機械のギヤで右手の中指と薬指を負傷した。	69	30 ~ 49
9	11~ 12	牧場の牛舎の中で牧草をカッターで裁断中に、牧草が詰まったので、カッターの回転を止めないで鎌で牧草を取り出そうとして鎌をカッターに巻き込まれて指をケガをする。	28	10 ~ 29
10	14~ 15	工場内の卵を選別するラインのすぐ近くに卵の洗浄機がある。その入口、出口付近に通常は触れることはないが、近くに卵の殻があり、本人が気になって取り除こうとした。その際、歯車に指を巻き込まれ、引っ張ってしまい、右手人差し指の第一関節より上を切断してしまう。	69	10 ~ 29
10	10~ 11	鶏舎内で鶏糞出し作業時に鶏糞を掻き出すスクーパーのワイヤーに糞の固まりが付着していたので機械を停止させずに、回転しているワイヤーに手で除去を行っていた所、夢中になり回転板に指を巻き込まれ、左手の人差し指の先を切断された。	37	—
10	10~ 11	鶏舎サービスルームで、給餌機の動作確認時に、駆動部が正常に作業していなかったため、モーターが回転したまま、ベルトが摩耗し緩んでいたギアを手で弾みをつけた際に、ベルトとプーリーに指が挟まり被災した。	36	1~ 9

10	8~9	豚舎内通路で、母豚移動中に母豚がまとまっていて、動かなくなり、押して移動させようとしたところ、足を踏まれ負傷した。	28	1~ 9
11	8~9	自宅牛舎内で自走式給餌機で給餌中、給餌機の前輪右タイヤが、バンクリーナーの溝に脱輪したため、引き上げ中に給餌機が横転し、下敷きとなり、左足を負傷した。（後日、右足2ヶ所骨折も判明）	34	1~ 9
11	10~ 11	出入り口付近において調教終了後の帰厩の際、該馬が付近を歩いていた厩務員に驚き突然立ち上がり、人馬転倒した際に左膝を該馬と付近の埒との間に挟まれて、同部を負傷した。	34	10 ~ 29
11	10~ 11	農場、集卵作業にて汚卵洗浄機稼働中に発生した。洗浄機内部に手を入れる際は、機械停止を行う事を再三注意喚起を行っていたにもかかわらず、機械を停止せず、引っ掛かった卵を取ろうとした。その際、チェーンベルトに左手が巻き込まれてしまい、中指上部のヒビ、爪が剥がれ裂傷、薬指も裂傷を負った。	46	1~ 9
12	15~16	牛舎内の扉（柵）を1人で閉めようとしたところ、牛が扉に突進してきて、扉に左手首を挟まれ受傷した。翌日以降だんだんと痛みと腫れがひどくなり、後日受診し、左橈骨遠位端骨折と診断された。	46	10 ~ 29
12	13~14	離乳舎の餌搬送システムが詰まり、餌が流れにくくなった為、Vベルトとプーリーの上に左手を入れたところ、Vベルトとプーリーの上に挟まれ、不注意にも左母指を切断してしまい、救急車にて病院へ搬送された。	50	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html